

GREEN

全農長野県本部情報 グリーンレーダー

Rader

2025
10
Vol.557



重点事業方針

A-Policy

畜産酪農部の取り組み

A-Reports

- ・旬を発信!「ぶどう三姉妹®」「りんご三兄弟®」
トップセールス開催 2
- ・「2025なんしんフラワーフェア」開催 3
- ・「青果物販売管理システム構築・推進委員会
プロジェクト関係者拡大全体会議」開催 4
- ・東京・大田市場でJA長野八ヶ岳・JA中野市合同のトップセールスを開催 5
- ・東京・大田市場でJAながの「ナガノパープル」のトップセールスを開催 6
- ・ファミリーマート向け国産シャインマスカット
長野県産原料&PFC長野(株)の貯蔵技術で12月下旬まで販売 6
- ・第22回信州アルプス牛共励会 最優秀賞1席にJA信州うえだ・久保田 聖氏 7
- ・松本駅前で行った牛乳の消費拡大イベントを開催 7

- ・九州の消費者にアピール 福岡県宗像市の宗像大社に県産農産物を奉納 8
- ・関西万博長野県ブースで長野県産果実・花きをPR 8
- ・新採用職員紹介 9
- ・米穀課からのお知らせ 9
- ・今月のおすすめレシピ 10
- ・10月のラジオ番組表 10
- ・編集後記 10



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

畜産酪農部

畜産酪農部の取組み



和牛マスターワールドオークションレセプションによる「信州プレミアム牛肉」PR



長野県中央家畜市場におけるEBL対策の札を装着

JA全農長野畜産酪農部は1部1課、3生産牧場の機能を最大限發揮し、畜産物の補完的な生産により数量確保を図りながら、信州産ブランドの販促強化等、有利販売の仕組みを維持強化し、農家所得の確保を目指して生産基盤の維持が図れるよう、次に掲げる具体策をもって事業に取り組んでいます。また、令和9年度末を目標とする松本食肉施設の閉鎖に伴う対応を県・市町村行政とすすめていくとともに、販社との連携一体化による県産食肉の流通体

制の堅持を目指し、取り組んでまいります。

1. 生産基盤維持と販売数量の確保

- (1) 空舎活用による生産基盤の維持およびJA子会社による肉牛生産基盤拡大
- (2) 新規事業OPUによる優良受精卵の確保と農家経費削減
- (3) 長野県中央家畜市場のEBL自主検査結果公表による市場活性化
- (4) 自給飼料の確保と乳質改善対策および疾病予防対策

- (1) 信州産ブランドの販売強化と生産性向上による農業所得の増大

3. 県本部生産農場の機能充実と経営の安定

- (1) 三岳牧場／和牛肥育預託頭数の拡大、乳用牛預託頭数の確保により施設の有効活用
- (2) ハケ岳牧場／生産性向上による生乳出荷量の確保、搾乳頭数

- (2) 信州ポークの安定した供給先の確保および固定販売価格による所得の向上
- (3) 信州産生乳の一元集荷多元販売による集荷コストの見直しおよび関係機関と連携した乳質改善、ポジティブリスト全戸巡回の実施

4. 中信地区における営農指導体制の整備

- (1) 営農技術員の資質向上によるセンター機能強化
- (2) 地域の実情、事業環境の変化に対応した最適な運営体制の協議と方向付け

5. 県内食肉処理施設に関する協議、令和7年9月県農政部が設置する新たな検討の場（協議会）への参画および実践

- (1) 令和10年4月以降の新たな県産食肉流通体制（代替策）の構築
- (2) 中長期的な長野県における最適な食肉処理施設のあり方について方向付け

*1 OPU＝経膈採卵
*2 EBL＝牛伝染性リンパ腫

(果実花き課)

旬を発信！「ぶどう三姉妹®」「りんご三兄弟®」 トップセールス開催

J A全農長野は9月5日(金)、旬を迎える「ぶどう三姉妹®」(ナガノパープル、シャインマスカット、クイーンルージュ®)と「りんご三兄弟®」(秋映、シナノスイート、シナノゴールド)のトップセールスを、大阪市中央卸売市場本場で開催しました(=表紙右上)。

今年は、大阪で関西万博が開催されていることもあり、国内外の多くのお客様に長野県産果実の美味しさを知ってもらい、消費拡大につなげることが目的です。全農長野運営委員会の神農佳人会長と、長野県の関昇一郎副知事が、旬の果物のおいしさを市場流通関係者に売り込みました。



市場関係者にブドウをPRする関副知事(左)と神農会長(右)

関副知事は、「ぶどう三姉妹®」の色の特徴を紹介するとともに、味の違いをアピール。「おいしい果物を大阪の方々に味わっていただきたい」と挨拶しました。また、神農会長は、例年以上の酷暑に悩まされながらも、生産者の頑張りによって、非常においしい果物をお届けできることを強調し、市場関係者へさらなる拡販をお願いしました。

このほか、市場流通関係者向けに「ぶどう三姉妹®」のパック詰めや、旬の長野県産果実の詰め合わせを用意し、おいしさのPRや販売方法を提案しながら、200セット以上を配布。瞬く間に配布が終了し、秋の味覚としてこれから流通が本格化する長野県産果実への期待の高さが伺えました。

全農長野の今期の販売計画は、「ぶどう三姉妹®」合計で10,200トン(前年度比5%増)、「りんご三兄弟®」合計で8,075トン(同7%増)を予定しています。今年の果実は、夏場の暑さや雨不足により着色しづらい、小粒傾向、などの影響もありましたが、甘さのぎゅっと詰まった仕上がりになっています。

みなさまもこの時期ならではの旬の味わいを、ぜひお召し上がりください！



挨拶をする神農会長



瞬く間に配布が終了した果実の詰め合わせ

(中信事業所 生産販売課)

「2025なんしんフラワーフェア」開催

なんしんフラワーフェア推進協議会（構成団体／ＪＡ信州諏訪、ＪＡ上伊那、ＪＡみなみ信州、ＪＡ全農長野南信事業所・中信事業所）は９月４日（休）と５日（金）の両日、富士見町のＪＡ会館ふじみで「2025なんしんフラワーフェア」を開催しました。

今年は真夏日や猛暑日の日数が各地で最多記録を更新し「異常な高温」となる非常に厳しい栽培環境の中、生産者やＪＡ関係者のご努力により、南信地域３ＪＡ管内の生産者が丹精込めて作り上げた切り花２１５点が出品されました。

審査は１５名の審査員が、花型・茎葉・草姿のほか、市場性等について審査。２７点が入賞し、最高賞の関東農政局長賞に有賀美和さん（ＪＡ上伊那）のアルストロメリア「ミストラル」が選ばれました（＝表紙左）。

２日目には花きの消費拡大と産地ＰＲを目的に、地元の富士見町立富士見小学校の５年生６９名を対象に花育教室を行いました。ＪＡの職員が講師をつとめ、南信地域で栽培されている花きを紹介し、３ＪＡの花を使用したアレンジメントを作成しました。また、品評会会場で模擬審査会を開催し、各自が一番気に入った花に投票しました。

同フェアは今年で３８回目の開催。諏訪と飯田で毎年交互に開催しており、次回は来年７月に飯田市で開催予定です。なんしんフラワーフェア推進協議会は今後も南信・中信地区の産地で連携を深めながら、花きの生産振興と消費宣伝に努めてまいります。



色鮮やかな花が並んだ会場



アレンジメントの作成に挑戦する小学生

2025なんしんフラワーフェア入賞者名簿（敬称略）

		品 目 名	品 種 名	氏 名	ＪＡ名
関東農政局長賞	１点	アルストロメリア	ミストラル	有賀 美和	上 伊 那
長野県知事賞	２点	輪ギク	岩の白扇	三井 静明	信 州 諏 訪
		トルコギキョウ	ハビネスホワイト	小池 真喜	信 州 諏 訪
長野県農協中央会長賞	２点	スタンダードカーネーション	カンナ	小池 直志	信 州 諏 訪
		アルストロメリア	ピンクティアラ	小林 克実	信 州 諏 訪
全農長野県本部長賞	２点	アルストロメリア	グリーンワンダー	小池 潤	信 州 諏 訪
		トルコギキョウ	しずく	農事組合法人 らいふ	上 伊 那
長野県地域振興局長賞	３点	スターチス一年生	オリゾンバイオレット	小林 葵	信 州 諏 訪
		アルストロメリア	セレブレーション	丸田 修央	上 伊 那
		ダリア	エターニティシャイン	久保田 直之	みなみ信州
ＪＡ南信地区協議会長賞	２点	ディスパッドマム	パルティカサーモン	山本 一寿	信 州 諏 訪
		アルストロメリア	ライムライト	半田 航志	信 州 諏 訪
農業協同組合長賞	３点	輪ギク	岩の白扇	迎 弘樹	信 州 諏 訪
		アルストロメリア	マッサ	有限会社 末広農園	上 伊 那
		ダリア	ホワイトヴェール	大平 篤史	みなみ信州
長野県農協中央会営農支援部長賞	２点	アルストロメリア	アニー	中原 睦男	上 伊 那
		アルストロメリア	ブライズメイド	篠原 俊	信 州 諏 訪
全農長野県本部事業所長賞	２点	アルストロメリア	ミルクティー	松本 雄一	信 州 諏 訪
		アスター	ラムネちゃん	矢沢 光洋	信 州 諏 訪
長野県生花商業組合理事長賞	１点	アルストロメリア	マッサ	五味 宏光	信 州 諏 訪
東京地区長野県花き推進協議会長賞	１点	トルコギキョウ	ボヤージュ２型ホットピンク	両角 哲雄	信 州 諏 訪
中部圏信州花き販売推進協議会長賞	１点	アルストロメリア	リゴレット	小林 実	信 州 諏 訪
京阪神地区信州花き推進協議会長賞	１点	鉄砲百合	新鉄砲百合	伊藤 豊	上 伊 那
なんしんフラワーフェア推進協議会長賞	４点	ディスパッドマム	カプリオール	田中 学	信 州 諏 訪
		アルストロメリア	ワンダースイート	松木 裕	信 州 諏 訪
		トルコギキョウ	オホーツクの晩夏	株式会社 カルチバフローレス	上 伊 那
		アルストロメリア	エデン	矢沢 光洋	信 州 諏 訪

(販売流通企画課)

「青果物販売管理システム構築・推進委員会プロジェクト関係者拡大全体会議」開催

J A全農長野販売流通企画課は8月25日(月)、「青果物販売管理システム構築・推進委員会 プロジェクト関係者拡大全体会議」を開催しました。この委員会は園芸関係のDX化に向け、青果物販売管理システム（以下、当システム）の構築・推進を目的に設置された会議体です。今回の会議では、委員会のプロジェクトメンバー・ワーキンググループメンバーのほか、当システムのプロジェクトに係る関係会社の皆様にも参加いただいた拡大全体会議として開催しました。出席者は、ナラサキ産業(株)、SJC(株)、(株)NTTデータ、(株)長野県協同電算、(株)全農長野計算センター、長野中央会に、全農長野からは根津彰寛副本部長をはじめ、小林博生産販売部長、小池経夫総合企画部長など、Web参加を含め40名となりました（＝表紙右下）。

当システムはナラサキ産業(株)の「FRESH」を基幹システムとして採用しながら、県内J A向けにカスタマイズをし、他のシステムと連動することで相乗効果による利用範囲の拡大と利便性の向上を目指しています。今回の会議では、FRESHの開発・推進の進捗状況、FRESHを起点とした各システムとの連動のイメージを共有しながら、関係者間での目線合わせ、PR強化、実現スピードの向上を目的としました。事務局およびナラサキ産業(株)、SJC(株)、(株)全農長野計算センターより当システムの概要と開発・進捗状況の説明を行い、その後、連携する各システムの概要と連携イメージを取引先から説明をいただきました。

① (株)NTTデータ 「FRESH×組合員マイページ」

生産者とJ Aをつなぐデジタルツール「組合員MYページ（アプリ）」。

このアプリをとおして生産者とJ A間で様々な情報を提供できる仕組みで、FRESHもこのアプリ画面からつながる事ができ、利用の利便性が向上します。FRESHは、生産者の出荷予定数や当日数量報告をアプリ上で行え、ペーパーレス化に寄与する仕組みとなっています。

② (株)長野県協同電算 「FRESH×園芸・花き販売精算システム」

J Aは、生産者の荷受情報・出荷先（卸売会社等）の出荷・販売情報が集約・照合され精算処理を販売拠点システム（Saika）と園芸・花き販売精算システムにて運用しています。販売精算システムの更新を踏まえ、より効率的で簡易な連携に向け関係強化を目指します。

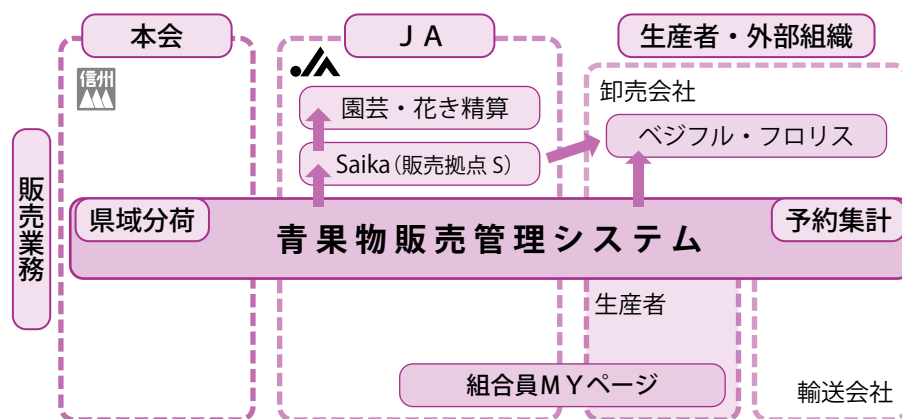
③ (株)全農長野計算センター 「FRESH×県域分荷システム・予約集計システム」

県域にて行う分荷業務と卸売会社の予約・特注の情報をJ A分荷作業（FRESH）に連動することで、従来の転記作業や手入力、並びに手作業の削減による効率化を図れるシステムとなっています。

④ 「FRESH・予約集計システム×ベジフルネット」

ベジフルネットは、青果卸売会社と系統産地が情報共有をするシステムです。売立情報や出荷情報を共有する事で、双方の事務効率や販売力向上に寄与しています。FRESHとの連動は、より早く・精度の高い出荷情報を提供ができる事で、有利販売に寄与することが期待されます。

今回の会議により、関係者との連携を深め、今後の方向性について共有することができました。生産販売部では、引き続き関係各システムとの連携強化に努め当システムの開発と運用推進により、J Aでの業務効率化、省資源化、販売力強化が進むように開発を進めてまいります。



各システムとの連動・連携の相関図

(東京販売事務所)

東京・大田市場でＪＡ長野八ヶ岳・ ＪＡ中野市合同のトップセールスを開催

ＪＡ長野八ヶ岳とＪＡ中野市は９月１２日（金）に、東京都中央卸売市場・大田市場で野菜・きのこ・果実の合同トップセールスを開催しました。この２ＪＡが合同でトップセールスを行うのは令和４年度からとなり、今回で４回目となります。

ＪＡ長野八ヶ岳からは白菜を中心とした高原野菜、ＪＡ中野市からはエノキタケをはじめとしたきのこ類と、ブドウを中心とした果実を市場関係者の皆様にPRしました。

ＪＡ長野八ヶ岳の津金一成組合長は「当ＪＡはハクサイ、レタス、キャベツを５月から１１月初旬まで出荷しています。これからの鍋の季節、ＪＡ中野市のきのこと共にどんどん使っていただきたい。価格も手ごろになってきます」とPRしました。また、ＪＡ中野市の望月隆組合長は「これからの鍋の季節、ＪＡ長野八ヶ岳のハクサイと共に私どものきのこもお使いいただきたい。また、今年は大きな自然災害がなくブドウが非常においしく仕上がっている。お客様にぜひご紹介していただきたい」とお願いしました。

場内では、きのこの詰め合わせと、ハクサイまるごと１玉を配布し、大盛況のうちに終了しました。残暑の中での開催となりましたが、関係者に協力いただき、盛大に開催することができ、秋を感じていただくことができたトップセールスとなりました。

東京販売事務所では今後も関係事業所と連携しながら、長野県の農産物のPRを進めてまいります。



挨拶をする津金組合長



挨拶をする望月組合長



ＪＡ長野八ヶ岳の野菜



ＪＡ中野市のきのこブドウ



（左から）北信事業所・安武裕高所長、ＪＡ中野市・上野広樹常務、ＪＡ中野市・望月隆組合長、東京青果㈱・川田光太社長、ＪＡ長野八ヶ岳・津金一成組合長、ＪＡ長野八ヶ岳・小池伸一農業部長、東信事業所・手島英雄所長

(北信事業所 生産販売課)

東京・大田市場でJAながの「ナガノパープル」のトップセールスを開催

JAながのは8月29日(金)、東京都中央卸売市場・大田市場で出荷最盛期を迎えるナガノパープルのトップセールスを開催しました。



(左から)北信事業所・安武裕高所長、JAながの・青木良文理事、東京青果(株)・川田光太社長、JAながの・宮澤清志組合長、JAながの・古川孝美須高ぶどう部会長



瞬く間に終了したナガノパープルの試食

競売前に宮澤清志組合長が「本年は高温・干ばつの厳しい気象経過ではあったが、生産者の努力と情熱により芳醇な香りと濃厚な甘みのナガノパープルが立派に実っている。高品質なナガノパープルを出荷するので、全国の消費者へ届けていただきたい」と挨拶し、市場関係者や仲卸、実需者の皆様にPRしました。

挨拶後にはナガノパープルの試食を配布し、食味や着色等の仕上がりの良さを買参人にアピールしました。試食した買参人から高評価をいただき、用意した100食の試食は瞬く間に終了しました。

その後のブドウの競売では、JAながので開催されたナガノパープル品評会で入賞した上位10品が競売にかけられ、買参人や市場関係者が注目するなか、高値で競り落とされました。

JA全農長野北信事業所は、今後も北信地区および長野県産農産物のPRを進めてまいります。

(営業課)

ファミリーマート向け国産シャインマスカット 長野県産原料&PFC長野(株)の貯蔵技術で12月下旬まで販売

8月26日(火)より全国のファミリーマート約16,000店舗で、「国産シャインマスカット」の販売が始まりました。原料の一部に長野県産が使用され、PFC長野(株)の貯蔵技術が活用されています。

JA全農と(株)ファミリーマートは資本業務提携契約にもとづき、JAグループの強みを活かした国産農畜産物の開発に取り組んでいます。

PFC長野(株)は、全国規模でコールドチェーンを展開する青果の総合流通企業、(株)ファーマインド(本社/東京都千代田区)とJA全農との新たな生産販売事業の開始にあたり2022年7月に稼働を開始した産地型青果専用センターです。同社は、生産者に近い場所で、青果物の鮮度を最適に維持したまま予冷、貯蔵ができる機能を備え、実需者側の要望に応じたパッケージング作業にも対応します。

この商品は同社の貯蔵技術を活用し、長野県産は北海道、東北、関東、東海エリアで12月29日までのロングラン販売を予定しています。

- 商 品 名：国産シャインマスカット
- 原料供給元：
長野県本部/山梨県本部/岡山県本部/大分県本部/JA全農青果センター(株)他 ※産地表示は「国産」
- 参 考 価 格：538円(税込)
- 賞 味 期 限：製造日プラス3日
- 販売計画数：65,000パック/月

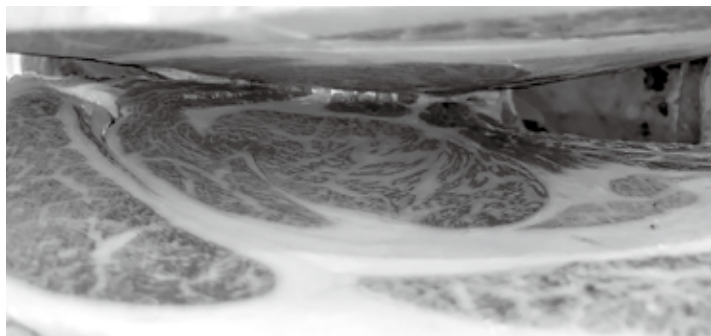
※店舗によって取り扱いのない場合がございます



畜産酪農課

第22回信州アルプス牛共励会 最優秀賞1席にJA信州うえだ・久保田聖氏

JA全農長野畜産酪農課は9月5日(金)、(株)長野県食肉公社で「第22回信州アルプス牛共励会」を開催しました。県内肉牛肥育生産者により、丹精込めて育てられた交雑牛25頭が出品され、交雑牛では3等級以上比率が80% (20頭) と、日頃の飼養管理技術の高さを証明した共励会となりました。



最優秀賞1席を受賞した久保田聖さんの枝肉

枝肉審査では、JA信州うえだの久保田聖さんの雌牛が最優秀賞に選ばれました。この入賞牛はロース芯面積102cm²、枝肉重量をはじめ歩留り基準値や品質の高さなど総合的に評価されました。

今後、この25頭の肉牛は長野県A・コープ(株)をはじめとする県内外のお取引先様に販売され、各店舗や飲食店の店頭に並びます。

第22回信州アルプス牛共励会 入賞者 (敬称略)

賞	JA名	生産者	種別	性別
最優秀賞1席	信州うえだ	久保田 聖	交雑種	雌
優秀賞1席	信州うえだ	(有)小田切牧場	交雑種	去勢
優秀賞2席	ながの	直販第1農場	交雑種	去勢
優良賞(順不同)	佐久浅間	六川 時彦	交雑種	去勢
//	佐久浅間	高塚 賢一	交雑種	雌

共励会成績

種性別	出品頭数	平均枝肉重量	平均単価
交雑種去勢	13頭	526.2kg	1,591円
交雑種雌	12頭	498.9kg	1,600円

畜産酪農課

松本駅前で牛乳の消費拡大イベントを開催

JA全農長野畜産酪農課は8月28日(木)、松本駅前で長野県生乳生産販売委員会中信地域酪農協議会メンバーによる牛乳の消費拡大イベントを行いました。イベントは8月1日より飲用・発酵乳向けの乳価が値上げとなったことを受け、牛乳の更なる消費拡大と酪農に関する理解醸成を目的に開催し、合計400人に牛乳を配布しました。

この時期は夏休みのため学校給食が無く、牛乳の消費がやや減る傾向にあります。そこに乳価改定による流通価格の見直しで、消費の減退が懸念されています。今年は猛暑の影響で、暑さに弱い牛は生乳の生産量(搾乳量)がやや減るため、需給バランスが大きく崩れることはありませんでしたが、9月以降も生産状況など不安が続きます。

相次ぐ食品の値上げで、消費者の防衛意識はさらに強くなり買い控えもみられますが、乳牛の病気を防ぐため毎日搾乳する必要があります。生産量を短期的に調整することができないため酪農家の皆さんは、消費者のために必死に経営努力をして安全で安心な生乳を日々生産しています。

畜産酪農課では、今後も生産現場の理解醸成を促すとともに牛乳の消費拡大をPRして参ります。



牛乳とリーフレットを受け取る親子連れ

(福岡販売事務所)

九州の消費者にアピール 福岡県宗像市の宗像大社に県産農産物を奉納

J A長野八ヶ岳、J A川上物産、J A川上そ菜販売、J Aあづみ、J A全農長野は8月23日(土)、福岡県宗像市の世界遺産宗像大社に長野県産農産物を奉納し、生産販売隆盛を祈願しました。

レタス、ハクサイ、リンゴ「シナノリップ」「サンつがる」、リンゴジュース、トマトジュースを奉納。参拝者にお裾分けとして、各J A・宗像市行政関係者などとサンつがる、レタス、各ジュース類400個を配布し、県産農産物の知名度向上を促しました。参拝者からは「新鮮なレタスやリンゴなどお裾分けでもらえたのは嬉しい」「長野県産のリンゴは甘くておいしい」などと言って思わぬお裾分けを喜んでいました。巫女さんによる配布など宗像大社も全面的に協力いただき、30分を待たず配布終了となり大好評でした。

祈願、奉納に先立ち、J Aあづみの内田信一専務が北九州市中央卸売市場でサンつがるトップセールスを行いました。市場関係者や仲卸・小売関係者などに向けて、出荷最盛期となる「サンつがる」の魅力ある相場形成と、今後続いていく中・晩生種へのリレー販売を要請しました。内田専務は「今年度でJ Aあづみも創立60周年を迎え、リンゴ産地として50年以上の歴史となる。年々、夏場の天候も暑い日が続いているが、産地では8月に入り徐々に夜温も下がり色付きも良好で収穫され、選果・出荷最盛期となっている。九州地区でもJ Aあづみ産リンゴの消費拡大に繋げていきたい」と話しました。

併せて、南佐久3 J Aも葉洋菜の販売促進会議を福岡市中央卸売市場である福岡大同青果(株)と実施し、出荷中のレタス類と秋口に本格化するハクサイをはじめとした県産葉洋菜の積極的な販売促進への協力を要請しました。



県産農産物を奉納した関係者



奉納する農産物をお祝い

(大阪販売事務所)

関西万博長野県ブースで長野県産果実・花きをPR



カゴ盛りの果実を紹介する阿部知事と長野県PRキャラクター「アルクマ」

J A全農長野大阪販売事務所は、大阪・関西万博で8月27日(水)から31日(日)に出展された長野県ブースで、長野県産農産物のPRを行いました。

初日には阿部知事と長野県観光大使で俳優の峰竜太さんが出席し、オープニングセレモニーが盛大に行われました。

長野県のブースでは四季をテーマにした大型パネルが設置され、その前にアルストロメリアやトルコギキョウ、カゴ盛りの果実を展示しました。

また、ぶどう三姉妹の試食品を提供し、試食されたお客様からは「甘い」「味が濃厚」「皮ごと食べられて良い」「色映えする」など

といった感想をいただき、会場は大変盛り上がりしました。

中央のモニターには、全農長野の広報CMに加え、長野県と共同で制作した信州プレミアム牛肉と米「風さやか」のPR動画を放映し、大勢の方々に長野県産農産物をアピールすることが出来ました。

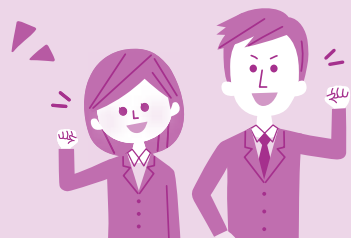


モニターで広報CMを放映

New face

新採用職員紹介

令和7年度の新採用職員を順次ご紹介します



北信事業所



生産販売課

ほんま もえか
本間 萌菜

おいしいきのお届けします！

はじめまして、北信事業所生産販売課の本間萌菜と申します。出身は長野市です。趣味は音楽フェスやライブに行くことです。最近岩盤浴にハマっており、休日は温泉を訪れて汗を流し、リフレッシュしています。

業務ではきのご担当をしており、日々勉強を重ねながら業務に取り組んでおります。一日でも早く一人前の職員となれるよう、前向きな姿勢で精一杯努力してまいります。よろしく願いいたします。



大阪販売事務所

みやじま かずひさ
宮嶋 俊央

長野県から出荷された 山積みのレタスに囲まれています。

はじめまして、大阪販売事務所 野菜・きのご担当の宮嶋俊央と申します。

出身は上田市です。趣味はドライブとバドミントンで、最近関西地方のお寺や神社を巡っています。

今まであまり馴染みのなかった大阪ですが、全国からたくさんの青果物が集まる市場の活気に包まれながら、刺激のある毎日を過ごしております。農業に関しては未熟者ではありますが、長野県産の農産物の魅力を発信できるよう、日々精進して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

新採用職員の紹介は今月で終了です。

米穀課からの
お知らせ

今年も美味しくできました 長野県産新米キャンペーン開催中

JA全農長野米穀課では、「長野県産新米キャンペーン」を開催中です。

対象商品のパッケージに貼付されているキャンペーンシール（50万枚限定）を2枚集めてシリアルナンバーを入力すると、抽選で150名様に8,800円分のお米券が当たります！

ご応募は12月31日(水)まで
(はがきの場合は当日消印有効)

皆様のご応募をお待ちしております。

詳しくはこちらを
ご覧ください。



キャンペーン特設サイト公開中！

JA全農長野の事業現況

令和7年度8月末総供給販売高実績表 (単位:百万円、%)

品目	区分	当年度実績	計画比	前年比
生産振興課		0	—	2
野菜種苗センター		119	110	115
生産振興部計		120	110	111
米	穀	7,200	76	101
果実花き		13,252	81	88
野菜きのこ		32,779	95	96
営	業	6,141	92	100
生産販売部計		59,372	88	95
農業資材		4,788	99	99
肥料農薬		3,389	106	105
農業機械		3,100	106	108
施設住宅		1,511	134	86
生産購買部計		12,788	106	101
畜産酪農		13,129	101	99
三岳牧場		108	81	85
S P F繁殖センター		117	88	111
八ヶ岳牧場		132	99	98
畜産酪農部計		13,484	101	99
燃料・ホームエネルギー		9,682	110	99
S S 協同経営		3,259	118	100
くらし		3,050	99	91
くらし支援部計		15,990	109	97
長野県本部計		101,754	95	97

(内部販売高含む)

10月のラジオ番組表

放送日時	放送局	番組名	出演
10/22(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内 「暮らしの応援団」	米穀課

グリーンレーダー
X(旧ツイッター)はこちら



グリーンレーダー
WEB版はこちら



信州の農産物は実りの時期を迎え、いよいよ秋らしく夜が長くなってきました。

我が家のキュウリ、トマト、シシトウは枯れてしまいましたが、サツマイモはこの夏の猛暑にもめげずに、土寄せをしただけで水をやらなくても枯れることもなく元気に育ってきました。「紅はるか」と「紅あずま」の二種類を植えてみましたが、苗の植え付け後に数日間水やりをしただけだったので、改めて暑さに強い作物だと実感しました。ヒルガオ科ということもあり、物によってはツルが長く伸びて葉が多く茂っています。収量が多いことを期待して、少し探り掘りをしてから10月中旬に収穫をしたいと思っています。

根菜類はこの他にダイコンを育てています。根が張る植物なので、できるだけ深く耕してから堆肥を入れ、土づくり後にうね立てをして9月上旬に種まきをしました。昨年は秋が短く急に寒くなったことを思い出し、保温のためにマルチを張りました。昨年収穫したダイコンが細くて変形した物が多かった苦い経験から、近くにあるJAファーム店でいただいた栽培簡単マニュアルを参照しながら育成をしています。発芽した後の間引きでは残す苗の判断に迷うところですが、残す苗の根を傷つけたら一緒に抜いたりしないように気を付けています。今から11月半ばの収穫が楽しみです。

(丁)

今月のおすすめレシピ

長野県産野菜ときのごキャンペーン第2弾レシピ

きのこと白ネギの 麻辣湯春雨



【材料(1人分)】

- ・エリンギ……………40g
- ・ぶなしめじ……………50g
- ・白ネギ……………1/2本
- ・青梗菜……………1/2株
- ・豚バラ薄切り肉……………50g
- ・緑豆春雨……………30g
- ・花椒……………あれば
- ・糸唐辛子……………適量

A

- ・麻辣醬……………大さじ1/2
- ・鶏ガラスープの素……………大さじ1/2
- ・水……………400cc

【作り方】

- ①白ネギは2cm幅の斜め切りにする。エリンギは手でさく。ぶなしめじは石づきを切り、ほぐす。青梗菜はざく切りにする。
- ②中火で熱した鍋に豚バラ薄切り肉を入れ、肉の色が変わるまで炒める。
- ③②にAを入れ、ひと煮立ちしたら、①を入れて煮込む。
- ④③に春雨を入れ、柔らかくなるまで煮込んだら、器に盛り付け、糸唐辛子を飾り、お好みで花椒をふる。



ポイント

辛いものがお好きな方は一味唐辛子をスープを作る際に入れてください。

編集後記



秋には秋の

JA全農長野です。



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

